

見島小中学校だより

第7号



発行責任者 校長 中野 貴夫

豊かな心と健やかな体を持ち、夢の実現に向けて自ら学び続ける見島っ子の育成

二分の一成人式を行いました。

2月2日(水)の1時間目に、二分の一成人式を行いました。これまで、成人になる年齢は二十歳とされ(2022年4月からは十八歳)、毎年二十歳の人を対象に成人式が行われてきました。小学校では、4年生が成人となる二十歳のちょうど半分の十歳に達することから、二分の一成人式と称して多くの学校でお祝いの式を行っています。

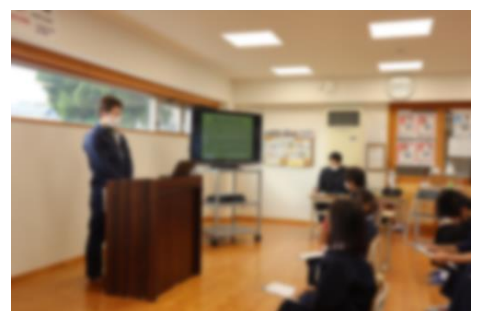
はじめに、二分の一成人式を迎えた■■■■君には、「これまで大事に育ててくださったご両親をはじめ家族や周囲の人々に感謝し、今度は■■■■君の力をその人たちのために役立ててほしい」、「将来に対する夢や希望を持ち、努力できる人になってほしい」と、この二つをお祝いの言葉の中で伝え、二分の一成人証明書を手渡しました。

次に、「十歳のスピーチ」として、■■■■君が将来の夢などについて話してくれました。その後、サプライズでお母さんが登場し、お祝いの言葉とともに■■■■君に手紙が渡されました。これに感動した■■■■君の目からは涙があふれ、お母さんと抱き合う感動的な場面も見られました。

さらに、講師としてお招きした本校卒業生の■■■■さん(JA山口県見島営業所)から、「見島で生まれ育ち仕事をしている経験からのアドバイス」と題しご講話いただきました。中学校を卒業した後、一度は見島を離れ本土の高校等に進学する子どもたちにとってとてもためになるお話や、現在の仕事を選んだ理由等について、優しく丁寧に話いただきました。■■■■さん、お忙しい中本当にありがとうございました。

この二分の一成人式をきっかけとして、■■■■君がこれまで以上に夢や目標に向かって力強く歩んでくれることを期待しています。

※ 二分の一成人式を迎える児童に■■■■君もいましたが、当日欠席だったため、■■■■君には、私(校長)からのお祝いのメッセージを送りました。



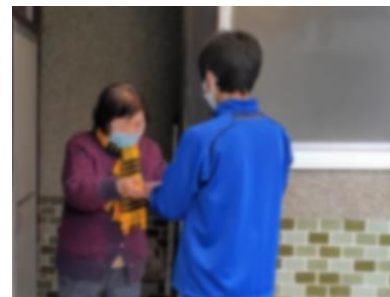
「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えました。

2月4日（金）の給食後に、「給食感謝デー」の取組として、調理員の■■■さん、■■■さんに感謝の気持ちを伝えました。児童生徒を代表して、小学部2年生の■■■さんが「いつもおいしい給食をありがとうございます。」と述べ、全校児童生徒で心を込めて作成したメッセージカードを渡しました。これに対し、調理員の■■■さんからは「いつも残さず食べてくれてありがとうございます。」、■■■さんからは「これからも調理員4人でおいしい給食を作れるようがんばります。」と、それぞれ児童生徒に向けてコメントをいただきました。4人の給食調理員のみなさん、いつも本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



また、2月14日（月）から18日（金）の五日間を本校では「ありがとうを伝える週間」と位置付け、今年度、体験活動や校外学習等でお世話になった地域の方々に感謝の気持ちを綴った手紙をお渡しする取組を行いました。今年度も交通立哨やミシマウォーク、しめ飾りづくり、おにようずづくり、部活動、みしまっ子、卓球教室等でお世話になった20人の方々の自宅を児童生徒又は教員が訪問させていただきました。

来年度も今年度以上に「学校の外に飛び出し、地域の方々や見島の自然・文化に直接ふれる活動」に力を入れていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いします。今年度一年間、本当にありがとうございました。



【地域の皆様へ】

例年3月に、本校では「卒業証書授与式」を挙げておりますが、今年度は小学部、中学部ともに卒業する児童生徒がおりませんので、「卒業証書授与式」は実施しません。なお、4月の「入学式」は実施する予定です。